



※上毛町防災ハザードマップは、平成20年に作成し、町内全戸に配布しています。マップがない方は、総務課までお問い合わせください。

## 非常時持出品・備蓄品をチェック!

非常時持出品はひとつにまとめ、すぐ取り出せる場所に備えておきましょう。

### 非常持出品

#### 貴重品

- 印鑑
- 預金通帳
- 保険証
- 免許証など



#### 備蓄品

##### 水

- 飲料水は一人1日3ℓが目安(煮沸して使用)
- こまめに取り換える
- 生活用水(炊事・洗濯・トイレなど)は、浴槽や洗濯機に貯水

#### 非常食品

- 缶詰
- 乾パン
- ビスケット
- チョコレート
- ミネラルウォーターなど

#### 衣類

- 下着類
- セーター
- ジャンパー
- タオル
- 防災ズキン
- 軍手など

#### 救急・衛生用品

- 消毒薬
- 傷薬
- 目薬
- 胃腸薬
- 鎮痛剤
- 解熱剤
- 絆創膏
- 包帯
- ティッシュペーパー
- さらしななど

#### 道具

- 缶切り
- 栓抜き
- ナイフ
- 割り箸
- 紙製食器
- ロープ
- ビニール袋など

※高血圧や心臓病など、常用している薬がある場合には、それらの薬も忘れずに。

#### 道具

- 予備電池
- 携帯ラジオ
- 照明器具
- 赤ちゃんがいる場合
- 食料品

#### 赤ちゃんがいる場合

- 粉ミルク
- ほ乳びん
- 離乳食
- おやつ
- 紙おむつなど

#### 食料品

- 米
- アルファ米
- レトルトパック食品
- カップ麺
- 梅干し
- 調味料
- 菓子類など

#### ●備蓄品の保管場所

家屋が倒壊しても取り出せるように頑丈なコンテナなどにまとめ、物置やベランダに置く。

**●無理なく備蓄するには**  
まず、通常買う2倍の量の米や缶詰を購入。半分使ったら同じ量を買い足す。これで常に新鮮な食糧を確保。

**安心して暮らして行くために**  
**家族で防災会議を**

「自らの安全は、自らが守る」これが、防災の基本です。けがをした家族の手当を、最も早くできるのは家族です。被害を最小限に抑えるには、関係機関の役割や地域の協力はもちろんですが、皆さん一人ひとりの「備え」が大切です。生命・財産・大切な家族を守るために、いざというときに備えて日頃から家族と話し合っておきましょう。

- 役割分担をきめる  
いざというとき、だれが何をするのか。一人の災害時要援護者に対して、誰を中心として、だれが(複数人)支援するのかなど具体的な救援体制について話し合いましょう。
- 避難箇所をチェック  
地域の危険箇所をチェックし、危険箇所には近づかないようにしましょう。また、避難する場合は、危険箇所を避けて避難しましょう。
- 避難所・避難ルートの確認  
いざというとき、どういった経路で避難すべきかを上毛町防災ハザードマップ※で確認しましょう。また、家族が離ればなれになってしまったときの集合場所を確認しましょう。



特集  
まちづくりの  
現場から

このコーナーは、上毛町第1次総合計画に掲げられた目標を実現するために、町が取り組んでいる事業のプロセスや課題などを毎月シリーズで紹介するものであります。

今月は、「地域防災力向上の取り組み」の現場からお届けします。

## 「絆」による地域防災力

自分たちの地域は自分たちで守る、

今年7月初旬から続いた梅雨前線の活発な活動による大雨は、九州各地に甚大な被害をもたらしました。町においても、家屋の浸水被害や道路の損壊、農地災害など多くの被害が発生し、復旧に取り組んでいます。いつ起こるかわからない大規模災害に備え、私たちは日頃から防災について意識することが大切です。大規模な災害が発生し、被害が広域にわたる場合、町や警察・消防などの行政機関が現場に到着するには時間が必要です。被害を最小限に抑えるためには、まずは第一に、「自分や家族の安全を確保する(自助)」「地域のみなさんと協力し合い、自分たちのまちを守る(互助)」という意識を高め、力を合わせて行動することが重要です。自助・共助を実効性あるものにするためには、「いざというときに備え、日頃から家族で話し合ひ、「地域」で行われる防災訓練などに参加する」「隣近所との交流を深める」ということが大切です。

### 上毛町地域防災推進員

(平成23年9月1日～平成25年8月31日 任期：2年)

新吉富地区	大平地区
宇野松本 友枝 龍延	西友枝1区 恒成 洋利
宇野西区 小久保 正典	西友枝2区 村上 勝彦
宇野東区 梅月 明	西友枝3区 末松 富保
宇野垂水 熊谷 好之	西友枝4区 大石 宣彦
垂水上区 長谷川 隆己	土佐井 是石 仁
垂水中区 垂水 茂利	下田井・新谷 高野 正博
垂水下区 向本 双美	東下西 長野 勝志
吉岡 矢岡 深	東下東 中山 義広
中村 前田 满	東上1区 三田 実
矢方 福田 展旦	東上2区 田島 保伸
緒方 竹田 芳朗	東上3区 皆尺寺 忠
成恒上区 永野 英憲	東上4区 松川 清
成恒下区 川島 学	有野 大木本 法通
大ノ瀬 武井 一彦	原井 貝ケ石 憲昭
八ツ並 橋本 敏行	百留 西尾 一宇
安雲東 渡辺 和照	上唐南区 重吉 邦久
安雲西 安元 輝己	上唐北区 別府 義一
尻高上区 木下 益美	下唐東区 宮本 浩幸
尻高中区 上田 次男	下唐西1区 西 和政
尻高下上 高橋 良明	下唐西2区 未廣 恒和
尻高下下 中森 孝	

### 自主避難が困難な方は登録を。

災害時に自分の力で避難することに不安のある方や困難な方で支援を必要とする方は「災害時要援護者名簿」に登録しておきましょう。現在545人の方が登録しています。登録方式は手上げ方式(自分から登録する)、同意方式(地域防災推進員などの関係者が要援護者に直接呼びかけ登録する)の2つの方法があります。

※名簿は総務課で保管しています。登録を希望する方は、総務課までお問い合わせください。

災害が発生した場合、身体に障がいのある方や一人暮らしの高齢者などの災害弱者は、情報を自ら入手して自力で迅速に避難することが困難なことから、災害時はより被害を受けやすくなります。災害弱者の方が安全に避難するためには、地域の援護・協力が必要となります。町では、地域の防災意識の高揚・防災活動の推進を目的に、各自治區から地域防災推進員を選出しています。

地域防災推進員は、各自治區における災害時要援護者名簿を作成し、支援体制の充実を図ります。平成23年9月から12月にかけて、社会福祉協議会主催で自治会長・防災推進員・民生委員・福祉委員・老人クラブ会長などで構成された地区別福祉会議を開催し、地域福祉について話し合い、要援護者名簿の更新作業が行われています。このほか、短期間での激しい降雨による、河川・水路の氾濫などに対応するため、地域で土のうを作成・備蓄を行うことなどの活動も行っています。

## 地域の災害弱者を災害から守る

地域防災推進員、